



創業 150 周年記念事業 県産品振興ワークショップを開催しました ～中高生が香川の伝統的工芸品の未来を考える 2 日間～

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、2026 年 11 月 1 日に迎える創業 150 周年記念事業の一環として、香川県の伝統的工芸品「讃岐かがり手まり」の振興をテーマとした県産品振興ワークショップを下記のとおり開催しましたので、お知らせします。

本ワークショップには香川県を中心とした中高生 24 名が参加し、讃岐かがり手まりの制作体験や伝統工芸の魅力を学んだうえで、チームに分かれて振興アイデアを発表しました。

参加者からは「色々な視点から多くの学びが得られた」「県産品の魅力を友人や家族に広めたい」といった声が寄せられ、地域の伝統文化への関心と理解を深める機会となりました。中高生ならではの柔軟な発想から生まれた数々のアイデアは、讃岐かがり手まりの新たな可能性を示すものとして、讃岐かがり手まり保存会や関係者からも高い評価をいただきました。

当行は今後も、メインテーマ「だから、挑む。－ありがとうを、たしかなカタチに－」のもと、150 年分の感謝をステークホルダーの皆さまへ“カタチ”にして届け、希望あふれる未来へとつなげていくために、地域の皆さまと一体となってさまざまな事業に取り組んでまいります。

記

【開催概要】

開催日	2026 年 8 月 27 日（木）及び 2026 年 8 月 28 日（金）の 2 日間
開催場所	香川県青年センター（高松市国分寺町国分 1009）
参加者	中学生 8 名 高校生 16 名（合計 24 名）
共催	株式会社百十四銀行、NPO 法人みんなの進路委員会
後援	香川県、香川県教育委員会
開催協力	讃岐かがり手まり保存会、高松探究塾



以上